TNFO-NET Shinetsu 2011. 5 Vol. 82



編集·発行総務省信越総合通信局

〒380-8795 長野県長野市旭町 1108 TEL 026-234-9963 FAX 026-234-9969 URL http://www.soumu.go.jp/soutsu/shinetsu E-mail shinetsu-kouhou@soumu.go.jp

平成23年度信越総合通信局重点施策を策定 ICTで繋ぐ 地域の絆 豊かで安心な暮らし



ICT (情報通信技術) は、国民の生活や社会経済活動の基盤となるものであり、また、ICTの利活用を積極的に推進することにより、地域の活性化、安心や安全な暮らしの確保等の様々な社会的な課題の解決に寄与していくものです。

信越総合通信局では、「ICTで繋ぐ 地域の絆 豊かで安心な暮らし」のキャッチフレーズのもと、信越管内のICTの利活用をより一層推進していくとともに、地上デジタル放送への完全移行を着実に実施する等の、4項目を柱とする重点施策を積極的に実施していきます。

重点施策1

電波やICTの利活用 による安心で安全な 暮らしの確保

- 1. 防災・消防等の最適 な無線システムの構 築等の推進
- 2. 携帯電話サービスエリアの拡大
- 3. 地域公共ネットワーク による安心で安全な 暮らしの確保

重点施策2

地上デジタル放送への完全移行の着実な推進

- 1. デジタル放送の受信者 支援の推進
- 2. 新たな難視対策の着実な実施
- 3. アナログ放送終了後の 周波数再編(チャンネル 変更)等の円滑な実施

重点施策3

「光の道」構想の推進 及び電波の有効利用 の促進による豊かな 地域づくり

- 1. ICTの利活用による 地域の活性化
- 2. 地域における電波・ 周波数の有効利用 の促進
- 3. 情報通信分野における研究開発の促進

重点施策4

誰もが安心してICTを 利用できる情報通信 利用環境の整備

- 1. 電気通信サービス の安心・安全な利 用の確保の推進
- 2. 健全な電波利用 環境の維持と電 波利用に関する リテラシーの向上

(問)総務部 総務課 026-234-9962

CONTENTS

平成23年度信越総合通信局重点施策を策定 ~ICT で繋ぐ 地域の絆 豊かで安心な暮らし~・・・・・・・・1

地域における安心安全のための RFID の利活用に向けて~調査検討会報告書の取りまとめ~・・・・・・・2

Let's地デジ!私たちも応援します!! / 情報通信月間中に管内で多彩の行事を開催します!・・・・・・

地域における安心安全のための RFID の利活用に向けて

~調査検討会報告書の取りまとめ~

「地域における安心安全のためのRFIDの利活用に関する調査検討会」(座長 信州大学総合情報センター長 教授 不破 泰)は、平成22年7月から推進してきました調査検討の報告書を取りまとめました。

本調査検討会は、RFIDの基礎実験や倒壊した建物や雪崩の下敷きになった被災者が所持するRFタグの 読み取り距離等に関する技術データの分析・評価を行うことによって、災害対策等に導入が望まれるRFID (電波を利用した電子タグシステム)の実用化に向けた提言を取りまとめました。

【災害対策等に向けたRFIDの社会的ニーズ】

◆被災者の捜索活動

瓦礫などに埋もれた人を救出する救助活動においては、被災者の埋没場所がピンポイントで特定できれば、 迅速に救助活動に取り組むことが可能となり、救命効果に格段の向上が期待できる。

◆傷病者の把握

医療機関や応急救護所さらには避難所において、次々と搬送されてくる受傷者のトリアージデータを無線及 びインターネット回線を用いて情報共有することにより、紙データによる管理と一体的な運用が期待できる。

◆避難所における避難者の把握

避難所における住民の安否確認は必須の重要事項でありながらも非常に困難な作業となるが、このような避難者情報の把握においても、RFIDは期待できる。

◆被災家屋の調査

建築物の応急危険度判定を行う際、応急危険度判定結果を紐付けたパッシブタグを対象の建物に貼付し、被 災住宅の位置データと併せて一元管理することにより、データの正確かつ迅速な収集が期待できる。

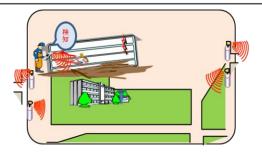
【災害対策等に導入が望まれるRFIDシステム】

- 〇 災害時捜索支援システム
- 〇 被災地におけるトリアージデータのリアルタイム通報システム
- 〇 大規模災害時における避難者把握システム
- 倒壊等危険家屋情報のリアルタイム収集システム
- 〇 徘徊老人の外出等検知システム

〇システム例:災害時捜索支援システム

パッシブタグによる被災者の捜索

瓦礫に埋もれた被災者が携帯するパッシグタグを中出力 (250mW)リーダライタで検知し捜索するシステム



雪下に埋没した被災者の捜索

表層雪崩等で雪下に埋もれたスキーヤーが所持するリフトカード (バッシグタグ)を、高出力(1W)あるいは中出力(250mW)リーダライ タで検知して捜索するシステム



(問)無線通信部 企画調整課 026-234-9940



Let's 地デジ!私たちも応援します!!

~第9回 abn 長野朝日放送 青池 玲奈さん~

長野県及び新潟県で地デジの周知広報活動に取り組む地デジ推進大使をシリーズで紹介します。

■地デジ推進大使に任命された感想は?

気付くと、県内5局の地デジ大使の中で、一番任期が長くなっていました!2006年 の長野県の地デジスタートの前から務めているので、任命されたのは5年以上前にな りますが、地デジ大使として早くデジタルテレビを設置しなければ、と思ったことを 覚えています。実際は2007年の秋に今のテレビを購入しました。

■地デジ推進大使として活動(エピソードなど)しての感想は?

ボブスレーの選手、動物、時代劇、炎天下でダンス、野球選手…地デジを推進すべく、 色々な PR 活動を行いました。良くこんなにアイデアが出るものだというくらい、毎 回いろいろなものに扮しました。今でも、町の電気屋さんで地デジのポスターを見た ときはちょっと恥ずかしくなります。

中でも一番の思い出は、2009年の善光寺節分会で、本堂からの豆まきにゲストとし て参加させてもらったときのことです。お貫主様、お上人様にお会いし、直接お言葉 もかけていただきました。あのような経験は一生でもう無いだろうと思います。



名前:青池 玲奈(おあいけれな)

出身地:東京都世田谷区 趣味:音楽鑑賞、合唱など

性格:A型なのに、わりと大雑吧です。

■地デジの良さについてひと言(PR)!

やはり、ハイビジョン映像の美しさです。一度地デジを体験したら、もうアナログには戻れません。



アナログ放送終了まであと3ヶ月をきりました。7月24日に向かって、地デジ大使もラストスパート、しっかりPRしてい きます!

情報通信月間中に管内で多彩の行事を開催します! ~デジタルと光がむすぶ、みんなのきずな~

情報通信月間(5月15日~6月15日)は、情報通信の制度改革を機に、情報通信の普及・振興を図る目 的として、昭和 60 年(1985年)に設けられ、今回で 27 回目を迎えます。

本月間の期間においては、全国各地で情報通信に関する様々な行事を開催していますが、信越管内にお いても、以下の行事(主な行事)が予定されています。(問)情報通信部 電気通信事業課 026-234-9936

- にいがた流 健幸生活の秘策とは? ~地域 ICT 利活用セミナー~
 - 日時 5月19日 場所 新潟市音楽文化ホール
- ブロードバンド利活用セミナー院 in 白馬村
 - 日時 5月20日 場所 長野県白馬村多目的研修集会施設
- 電波でつなぐ地域の輪
 - 日時 5月23日~6月3日 場所 長岡市と周辺市町(小千谷市、見附市、出雲崎町)
- 信越情報通信懇談会 総会記念講演会
 - 日時 5月26日 場所 長野市 (メルパルク長野)
- ファミリー電波教室
 - 日時 5月29日 場所 長野市少年科学センター
- デジタルサイネージ体験会 2011
 - 日時 6月2日(予定) 場所 新潟市 (ソルメディエージ)
- 地域のかわら版・コミュニティ放送!2011
 - 日時 6月17日~19日 場所 新潟市
- 電波の安全性に関する説明会 in 佐久
 - 日時 6月予定 場所 長野県佐久市
- なかのバラまつり~コミュニティ放送から情報発信~ 日時 6月上旬 場所 中野市一本木公園



